

【テーマ】  
1-人材育成、確保のための取組  
(1) コミュニティの支援

【採択年度】  
R4 年度

## 球磨村 かじむき・しゅんなめじょ (小川班)

むいた楮(コウゾ・カジ)の皮での和紙づくりとむいた楮の木を使ったしゅんなめじょづくりを通して、小川地区の伝統文化を次世代に継承していくことがコミュニティの場となり、地区の良さを見つめ直す良いきっかけとなっています。

### 地域の課題と活動をはじめた動機

渡地区(小川班)は、和紙の原料となる楮の皮の供給を農閑期の副業としていました。地区住民の高齢化と少子化により、伝統行事・伝統文化の継承が難しい中、小川班の伝統行事として楮の皮むきだけは貴重な取組みとして残っていました。地区住民から「もったいない」の声があり、楮皮での和紙づくりの復活を試みることにしました。

### 活動(事業)内容

- 楮皮づくりや和紙づくりの文化を次世代へ継承するための取組みとして、地域住民や小学生の共同した手すき和紙づくり体験会を行いました。
- むいた楮の木を使って、小正月に飾る人形「しゅんなめじょ」を作りました。

### 成果

- 渡地区(小川班)の伝統文化「楮の皮むき」と「しゅんなめじょづくり」を小学校の体験学習として交流することで、子どもたちへ地域文化の素晴らしさを伝えるとともにコミュニケーションの場にもなっています。
- 子どもたちは、和紙づくりを体験することで紙漉きの楽しさを味わい、和紙づくりへの興味・関心が高まりました。

### 現在の活動と今後の展望

- 和紙づくりは冬場の仕事になるので、和紙の原料となる楮の調達と皮むきの計画を立てています。
- 賞状やハガキづくりだけでなく、和紙を活用した作品づくりなどを行いながら他地域へ広め、活力ある地域づくりに努めていきたいと考えています。

### 連携団体

- 球磨村役場復興推進課山村振興係

### 情報発信媒体

<https://www.kumamura.com/>



渡地区(小川班)の風景



楮(コウゾ・カジ)



小学生たちとの交流



和紙づくり用の釜煮

【地域の概要】球磨村渡地区小川班 (人口) 77 人 (世帯数) 33 世帯 [住民基本台帳 2023.12 現在]  
【組織の概要】かじむき・しゅんなめじょ 班長(当時):小川 豊明 会員数:60名 活動拠点:公民館・自宅

事業企画・展開のポイント

## 和紙づくりは伝統行事。楽しく意欲的に活動する！

恒例行事として伝統行事を行うには、その行事の目的を明確に示すことが大切だと思います。参加者が子どもでも大人でも、それぞれの役割に合わせた環境を整備することで、活動が楽しく活発に展開できると思います。



皮むきの作業



紙漉きの作業

組織運営のポイント

## マネジメントを大事に！

組織を動かすには、計画・実施・評価・改善が必要だと思います。地区内の皆さんの発想力や技術力を活かした計画を立て、楽しみながら活動することが次へとつながる振り返りになります。



原木の切り出し



皮むき作業

他の団体と連携ポイント

## 伝え合うことが大事！

他の団体との情報交換や相互理解が必要です。定期的な交流し、情報交換を行うことで相互理解を図り、日常的なつながりや信頼関係を深め、より活性化した活動へとつなげていくことが大切だと思います。



和紙の作品づくり



小学校との交流